

区分	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	SI室での活動などダイナミックな動きができるように工夫しています。今後、スペースの確保を予定しています。その他、共有スペースの利用や外出、社会資源の利用を計画していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		活動によって兼務職員で増員し対応しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		床は転倒しても衝撃の少ない素材、隅々まで掃除ができるように床を巻き上げております。また、お手洗いや利用しやすいように対応しております。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		ケース会議や支援の目的や評価、内容の確認を行い、より専門的な支援ができるようにしていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者からの意見などが聞ける環境づくりをしている。アンケートを通して保護者からの意見を聞き、職員間で共有していきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		個別計画の評価や面談の時に報告をしている。今後も支援の質の向上に努めます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		第三者委員会の方々と意見交換などできる場を設けている。今後も意見を聞き、質の良い支援ができるよう職員同士でも意見交換する場を設けていきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部の研修に参加している。また、内部の研修会も行っている。今後も外部の研修や資格取得に関する研修など周知していきます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		半年に1回面談を行ってご家族のニーズや課題などを確認している。担当者会議にも積極的に出席している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		各専門職員がアセスメントを行い評価している。今後も評価を続け、新しい情報へと更新していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		様々な職種の職員でアイデアを出し合っている。今後もしっかり目的をもって療育を行っていきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		同じ目的の療育でも飽きないように工夫している。今後、多職種の職員の意見を聞き、子供たちの成長や発達に沿って話し合いながら内容を決めていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		数人の職員で時間を作り、課題設定を話し合っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		専門職との個別の時間や学習の時間を設けている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		申し送りの時間の後に話し合う時間を設けている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		気が付いたことや重要事項は報告し共有している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録の時間を確保し、記録を残している。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリングで話し合ったことを多職種のチームで話し合っって見直している。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		している。

区分	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		施設責任者か児童発達支援管理責任者が出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者や学校などと連絡をとったり、おたより帳などで調整している。間違えないように今後も確認し対応していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		医師が常にいるため指示を受けながら支援をしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		必ず担当者会議を行い情報共有をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		担当者会議などに出席し、情報提供を行い引き継いでいる。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		積極的に研修に行ったり、各専門機関それぞれの専門職同士の情報共有を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	児童同士限定での交流は行っていないが、地域のイベントに参加する機会は設けている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		児童発達支援管理責任者が出席している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		担当者会議やモニタリングなどに加え、気になることや変化があったりしたらこまめに連絡するようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		心理職がペアレントトレーニングを行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		施設責任者か児童発達支援管理責任者が行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		各専門職が対応したり、改めてお話しできる場を設けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今後保護者同士の交流ができる会を計画している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情窓口の責任者が対応をしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		おたより帳にて連絡している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		しっかり注意し、研修などでも取り扱っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		見学はいつでもできるようにしている。

区分	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各委員会が作ったマニュアルを周知し内部の研修で確認共有していきます。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		法人の避難訓練は年に2回行う。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年に1回、法人内で虐待についての研修を実施し参加している。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		緊急やむを得ない身体拘束に関しては契約の時に話し合い、個別支援計画に明記させていただいている。バギーや座位保持は、時間の記録をし同意書をもっている。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師が指示をし、栄養士が保護者へ聞き取りを行い対応している。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		している。